

学校だより
平成26年
5月26日号

はるにれ

海老名市立
有馬小学校

若葉が目まぶしい季節

若葉が目まぶしい季節となりました。校庭のケヤキやハルニシの木々が、優しくありまっ子の遊ぶ様子を見守ってくれています。

今年度、創立122年を迎えた有馬小学校は、いたるところに歴史の重みを感じさせるものがあります。百周年記念資料館の中に大切に保管されている品々であったり、樹齢80～90年と伝えられるケヤキやハルニシの木々であったりします。その中でも、体育倉庫横の銀杏の木は、何十年も前に強風で倒れた後、傾いた木を元通りに直して現在に至っているということです。今では、枝を大きく広げ若葉が眩しく日に輝いています。その時、折れた幹からまな板を作り配ったそうです。当时有馬小学校に勤めていた職員もそのまな板をもらい、現在も立派にまな板として活躍しているという話を聞き驚きました。

この長い歴史のある有馬の伝統を受け継ぎ、有馬小学校・地域に開校以来脈々と息づいている「昔ながらの素朴な気質・有馬らしさ」を大切に、子どもたちのために力を尽くしていきたいと思ひます。

子どもたちを見守る温かいまなざし

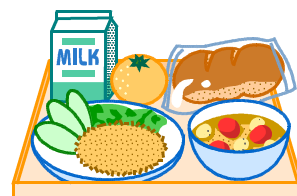
1年生 下校・給食

◆ありまっ子応援団ネットワーク◆

「ありまっ子応援団ネットワーク」の活動の一環として、1年生の下校時の見守りを民生委員さん方と保護者の方々に、また、1年生の給食指導の補助を保護者の方々にお願いしました。

ご支援いただいた方々は、ありまっ子の安全や笑顔のために心を込めて活動してくださいました。海老名市の教育理念である「ひびきあう教育」の「人と人とのつながり」を大切にする大事な活動です。写真は、お世話になる青パトの方々に挨拶をしているところです。地域で会ったときに子どもたちから挨拶ができるようにしていきたいと思ひます。

これからもたくさんの人たちとの豊かな関わりの中で、学力はもちろんのこと、人間性や社会性等の成長につなげていきたいと思ひています。これからもいろいろな場面でありまっ子がお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



平成26年度職員紹介

◆一年間よろしくお願ひいたします◆

校長	宮原謙二		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	ひまわ
教頭	富士原幸隆	1	新村美保子	奥野順子	西松美江	鈴木智子	大部信介	大西航介	上原 翼
教務	室矢真弓	2	森 達也	和田睦美	北澤有香	山下晃平	山口友梨	森田静江	遠藤由美子

級外	松場 恵	養護	齊藤可南子	2・4・5科	山中敏子	情報モラル	大貫政義
専科	小野田陽子	事務	中島和子	栄養士	長島康二親	訪問相談員	井野実知留
補助指導員	西田隆子	用務員	磯川みち代	ELT	タイン バナード	図書館支援員	杉山充代

安全監視員	長坂 洋	松浦勝巳	加藤武久
-------	------	------	------

ありまっ子笑顔デー ◆笑顔あふれる心と体プロジェクト◆

ありまっ子が将来、社会の中で「しあわせ」に生きてほしいと願っております。それには、「人と上手に関わる力」をつけることがとても大切です。

有馬小学校の学校教育目標は、「真理を愛し心身ともに健康であり調和のとれた子どもを育てる」です。具体目標を、「よく考えて実行する有馬の子」「思いやりのある有馬の子」「健康でたくましい有馬の子」としています。この具体目標を達成させるために研究主題を、

あふれる笑顔で学び合い心も体も元気なありまっ子

と設定して、好ましい人間関係の中で体を動かすことの楽しさを味わわせるよう、様々な取り組みを行っています。

5月1日(木)の昼休みに、ありまっ子笑顔デーの活動として、グループの顔合わせが行われました。この縦割りのグループで1年間「人と上手に関わる力」を育みながら、テーマに迫っていきたいと思います。



“ことばを大切に”

こどもたちの会話を聞いていると、時折相手の気持ちを考えない心ない言葉を耳にすることがあります。

ありまっ子の規範意識を形成するために、児童支援委員会で年間生活目標と重点目標を決めて取り組んでいます。

○年間生活目標「あいさつ名人になろう」

○重点目標 ①右側を静かに歩こう

②気持ちのよい言葉を使おう

③ものを大切にしよう～みんなのもの・自分のもの

②の「気持ちのよい言葉を使おう」を子どもたち一人ひとりに意識してほしかったので、朝会で言葉の大切さについて話をしました。その時に、子どもたちに贈った「詩」を紹介します。子どもたちが少しでも言葉を大切にしてくれることを願っています。

「ひとつのことば」

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなおり

ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む

ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を持っている

きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心

ひとつのことばを 大切に
ひとつのことばを 美しく

